

進路だより第3号：令和2年7月16日発行

佐賀県立唐津東高等学校 進路指導部
〒847-0028 佐賀県唐津市鏡新開1番地 Tel 0955-77-1984

羅針 ~高く望み、強く走れ!~

「特別な夏が来る」

進路指導部長 宮川 淳

◆特別な夏とは…

コロナ禍の影響により1学期終業式は、7月31日(金)に変更になりました。2学期始業式は、予定通り8月28日(金)。つまり丸々4週間が夏休みとなります。しかし実際はお盆明けの8月17日(月)から授業が始まります。

1学期は臨時休校により授業進度が遅れ、各種行事の中止や縮小が相次ぎました。高校生活は泣いても笑っても3年間。勉強や部活動など高校生活を一生懸命に取り組んでいる人ほど、また高いハードルを目指している人ほど、この3年間という時間は短くかつ貴重なものです。したがって、この1学期の損失は決して小さなものではありません。この状況で迎える夏休みは特別です。はっきり言うと、今年は日本全国の生徒全員、夏休みは「休み」ではありません。高3生はもちろん、高2~中1生まで有意義な夏を過ごしてください。

◆新しい大学入試

また今年度は大学入試が大きく変わります。主な変更点を次のA~Cにまとめましたが、詳細は「進路のしおり2020」を必ず見てください。

A. センター試験が廃止され、共通テスト元年となります。大きな変更点は次の2つです。

- ①思考力を問う問題が多くなり、かなり難化します。
- ②英語(200点)はリスニングが重視されます(記述:リスニング=100:100)。

B. 推薦入試、AO入試が変わります。まず呼び名が次のように変更されています。

推薦入試 → 「学校推薦型選抜」 AO入試 → 「総合型選抜」

主な変更点は、出願時期が遅くなることと、学力も重視されるようになること、等。

C. 主体性や適性を評価する入試が増加します。方法は大学(国公立・私立問わず)や入試方法(一般・推薦ともに)によって多種多様です。例えば、佐賀大学は「特色加点」の提出が任意でできます。小論文や面接はもちろん、調査書で評価する大学も増加します。

以上をまとめると、大学側が望む生徒と望まない生徒が見えてきます。大学側が望む生徒は「知識偏重ではない思考力・判断力を含む高い学力を持ち、学部学科の内容に高い関心・意欲があり積極的に取り組む生徒」です。逆に大学側が望まない生徒は「入試の点数だけは

合格ラインだったが、大学入学後はやる気がなく、適性も感じられないミスマッチの生徒」でしょう。以上の内容から、「受験勉強は高3から」という常識(?)が通用しなくなるのは明らかです。

◆この夏、やるべきこと

したがってこの夏、東中高生全員に共通して取り組んでほしいことは、以下の2つです。

① まず勉強! 特に高3生は「夏を制すものは受験を制す」です。「今までの人生で一番勉強した!」といえるほど、死ぬ気で勉強してください。それ以外の夏はありません。下級生についてもまず勉強です。苦手教科を克服し、1ランクアップできれば「がんばった」といえるでしょう。

② 希望の学部学科に関する分野について読書を中心とした研究をしましょう。小論文・面接対策としても「コンテンツ(内容)」を蓄えることは重要です。「調べて書く」練習をしてください。その分野を勉強する大学での生活がイメージできれば成果アリです。特に推薦入試等を考えている高3生は、2学期からでは手遅れです。志望理由書、小論文、面接…。勉強時間を減らすことなく、+αでがんばってください。そして下級生こそ、自分の進路に関する読書・研究をしてください。文系・理系、そして文学・法学・経済・教育・工学・理学・農学・医学etc…。上級生ほど(特に高2生は)高いレベルで取り組んでほしいと思います。

以上、すべての東高生、東中生にもう一度言います。「有意義な夏を過ごしてください」。

◎ 小論文入試対策のために

入試形態の多様化とともに、小論文を課す大学がますます増えてきています。学校推薦型選抜や総合型選抜は言うまでもなく、国公立大学の二次試験(個別学力試験)の後期入試では多くの大学が小論文を課しています。

ひとくちに小論文といっても、400字程度のものから1200字以上のものと書かせる量も様々で、中には1回の試験で複数書かせるものもあります。また、テーマだけが与えられているもの、日本語または英語の文章を読ませたうえで書かせるもの、英語で書かせるもの、グラフや表を分析するもの等、多種多様です。

「進路のしおり2020」には、p34より「小論文テーマ一覧」を載せています。下に挙げているのはその一部で、昨年度の出題例です。

〈人文科学系統〉

現代は想像力を駆使し他人と共生すべきだと論じた文を読み、根拠とともに例を挙げて自分の考えを書く。(島根大学 法文学部)

〈学際系統〉

ジャッジメントは個人の主観的体験を客観的事実のように押し付ける暴力性をもつという文章を読み、自分の考えを書く。(熊本大学 文学部)

〈社会学系統〉

女性の就業率増加は未婚化によるという文章を読み、男女ともに同じように働ける社会の実現案などを述べる。(佐賀大学 経済学部)

〈理学系統〉

過去の気候変動などを示す文章と4つの図により、近年の温暖化は問題ないという考え方に対する意見などを書く。(新潟大学 理学部)

〈農水産系統〉

自分がスマート農業を行うとしたらどのようなアイデアがあるか、また農業や地域にもたらす効果を述べる。(琉球大学 農学部)

〈医歯薬系統〉

AI導入により医療・介護分野などでの雇用は増えるという英文を読み、筆者の主張に対する反論などを述べる。(佐賀大学 医学部)

文章を読んで書く場合でも、読んだ文章の内容をなぞるだけでは意味がありません。自分の主張を裏付ける根拠と具体例を、自分の頭の中から引っ張り出せるかが、いい小論文を書けるかどうかの分かれ目です。具体例も独りよがりのものではなく、読む人が納得できる説得力のあるものが求められています。

3年生は、受験する大学が決まっている場合は過去の出題を調べて、関連した書籍を数冊読んでおくべきでしょう。また1・2年生も自分が進みたい分野について書かれた専門書や関連する新書などを、この夏に3冊程度読んでおくことを勧めます。

本校図書館にも小論文対策として用意している書籍があります。以下に、数冊紹介します。

「AI兵器と未来社会～キラーロボットの正体」栗原聡 著 (朝日新書)

「世界は感情で動く」マッテオ・モッテルリーニ 著 (紀伊國屋書店)

「欲望する『ことば』」嶋浩一郎、松井剛 著 (集英社新書)

「違和感から始まる社会学～日常性のフィールドワークへの招待」好井裕明 著 (光文社新書)

「科学の危機」金森修 著 (集英社新書)

「地球環境の事件簿」石弘之 著 (岩波科学ライブラリー)

「小論文の完全ネタ本」【社会科学系】編 【人文・教育系】編

【自然科学系】編 【医歯薬系/看護・医療系】編

神崎忠彦 著 (文英堂)

◎ オープンキャンパスへは行けないけど…

オープンキャンパスに参加することで「学校案内」のパンフレットだけでは分からないことも見えてきます、だから1・2年生の皆さんは希望する大学のオープンキャンパスへこの夏参加しよう…。例年はこのようにアドバイスしていました。ですが、今年は各大学がオープンキャンパスの実施を見送っています。ただしその代わりに多くの大学が、「web上でのオープンキャンパス」を行っています。

各大学のホームページから参加できますので、ぜひ開いてみてください。

また、web上での参加であるので、多くの大学のオープンキャンパスに参加することも可能です。ですから、今年は自分の興味や知っている大学の枠を超えて参加してみることを強くお勧めします。各大学の各学部に特徴がありますので、自分の学びたい専門分野についても、新たな発見があるかもしれません。模擬講義が用意されていればぜひ視聴してみましょう。

もしかしたら、webであるからこそ出会えたという大学があるかもしれません。そしてその大学が未来の自分が過ごす学校かもしれません。時間に余裕のある夏のうちに、あちらこちらに行ってみましょう (web上で) !

◎ 7月後半～8月末の行事予定

○今年度は7～8月に授業が行われますので、夏期特課は予定されていません。

○九大生特別講座：8月25日(火) ← 中3、高1が対象です

夏の模試について

【 高校1年生 】

7月18日(土) 代ゼミ全国高1共通テスト(全員)

8月29日(土) 第2回県下一斉模試(全員)

【 高校2年生 】

7月18日(土) 代ゼミ全国高2共通テスト(全員)

8月29日(土) 第2回県下一斉模試(全員)

【 高校3年生 】

7月18日(土) 北予備九大プレ(希望者)

7月18日(土) 19日(日) 河合塾東大オープン(希望者)

7月18日(土) 19日(日) 河合塾京大オープン(希望者)

7月21日(火) 小論文模試(希望者)

8月3日(月) 4日(火) 第2回全統共通テスト模試(全員)

8月5日(水) 6日(木) 代ゼミ全国高3共通テスト模試(全員)

8月16日(日) 九大プレ(希望者)

8月29日(土) 30日(日) 第2回県下一斉模試(全員)

*8月7日(金)～14日(金)は、校舎内終日立入禁止期間です。自宅またはそれ以外の場所で、しっかり学習に集中できる場所を考えておきましょう。

※保護者の皆様へ

ご質問・ご相談等ございましたら、遠慮なく学校までご連絡ください。